

### 【3月4日（月）朝礼講話】

校長先生は、体育が専門なのでスポーツをすることも、見ることも大好きです。週末になると、たくさんのスポーツの大会やイベントが行われます。特に今の時期は、来年2020年東京オリンピックの代表選手を決めるための、重要な大会もたくさん行われています。

先生もあまり詳しい分野ではありませんが、昨日寒さが厳しい中「東京マラソン」が行われました。この大会も、オリンピックのマラソン選手選考大会のひとつで、最終選考の「マラソングランドチャンピオンシップ（MGC）ファイナルチャレンジ」への参加切符を争う大会です。

本校の6年1組の神野先生の弟である「神野大地（かみの だいち）選手」も参加しました。神野先生も東京まで応援しに行かれたようです。2015年の箱根駅伝で青山学院大学の選手として参加し、「3代目山の神」として活躍されました。卒業後は企業に所属し、その後プロのランナーになって、海外でトレーニングを積みながら、いろいろな大会に参加しているそうです。昨日は悪天候で、冷たい雨に打たれ、体脂肪の少ない神野選手には大変厳しい気象条件でしたが8位という結果でした。しかし、2つの選手選考大会の平均タイムが2時間11分以内という条件をクリアして、みごとMGCファイナルチャレンジへの切符を手にししました。神野選手は、この海部地区の津島市の神守中学校出身です。校長先生の旦那さんも子どもたちも、もちろんお兄さんの神野先生も、そして5年1組の担任の野村麻人先生も、みんな神守中学校出身です。オリンピック出場に向けて頑張っている地元の選手を、みなさんもぜひ応援してください。

もうひとつは、卓球の張本智和（はりもと ともかず）選手です。ジャパントップ12という大会の男子シングル戦で、見事な優勝を決めました。この優勝の陰に、1月の全日本卓球選手権大会の男子シングル戦での、まさかの準決勝での惜敗、二連覇を逃すという経験がありました。本当に悔しかったこの経験から、水谷隼選手を全く寄せ付けない強さを発揮しました。

一流の選手でさえ、「負ける」という経験が、本当に力になるということを感じました。みなさんも、いろいろなことにチャレンジしてください。そして、失敗を恐れず、それを力にできるくらいになってほしいと思います。チャレンジする気持ちを忘れずに、いろいろなことに取り組んでください。

今日は、野村久美子先生のお話を聞きます。しっかり聞きましょう。

これで校長先生のお話を終わります。